

石材店の新たな事業展開に向けて

少子化や「イエ」制度の崩壊などによって墓地の無縁化が進み、新たに代々墓を建てようというニーズも減少を続けている。一方で増加しているのが、無縁になりそうなお墓の墓じまいと、墓じまい後の遺骨の行き先となるさまざまな形態の永代供養墓だ。

打つ手なく廃業に追い込まれる石材店もある中、淘汰されずに生き残るためには、時代にあった新たな事業展開を出来るだけ早く模索する必要があるだろう。今回は、専門許可業者として安心・確実な墓じまいを手がけ、豊富な実績をほこる株式会社美匠と、より時代にあったお墓づくりを進めるために「みんてら事業部」を立ち上げ、个性的でオンリーワンのお墓づくりを進める有限会社川本商店、石のトータルサプライヤーをめざす業界のトップランナーとして早くから「次の一手」である納骨堂開発に着手していた株式会社サンセキの3社に話を聞いた。

本号で紹介する事例は「思い立って今日からできる」という即戦力的なヒントではない。しかし、特集に目を通した各社が中長期的な目線で「自分たちができること」を探る足がかりにはなるのではないだろうか。3社がともに有する「時代のニーズを汲み取る力」を、ぜひ感じていただきたい。



適切な産業廃棄物処理によって 業界のイメージアップを図る

「お墓の継承者がいなくなった」「高齢になり、先祖代々の墓を管理していくことが難しくなった」「お墓が遠方にあり、なかなかお参りに行けない…」。

少子高齢化が進み、代々受け継がれてきたお墓の維持・継承に頭を悩ませる人が増えている。例え継承者がいても、「重荷を背負わせるようで、先祖の墓を守れとは言いにくい」と躊躇したり、逆に子や孫が夫婦墓を望み代々墓を敬遠したりと、「お墓は継承するもの」という従来の常識を前提としない悩みが増えているようだ。無縁墓になる前に先祖代々の墓を撤去する「墓じまい」のニーズ増加は、時代が求めるものを如実に示していると言えるだろう。しかし、墓じまいが増えたからと言って、日本特有のお墓文化が絶えようとしているわけではない。「墓じまいのあとの手を合わせる場所」を求める人は多く、そこに石の可能性を見出すことができるはずだ。また、石材業界全体のイメージが少なからず需要を左右すると考えれば、心ない無許可業者による不法投棄を食い止めることも考えなくてはならない。コンプライアンスを第一に、安心・確実な墓石の解体・回収・運搬・リサイクル処分に努める株式会社 美匠・代表取締役 中西あざみ氏のお話からヒントを探ってみよう。



中西あざみ代表取締役

コンプライアンスの遵守と、 御先祖様を敬う気持ちを第一に考える

株式会社 美匠の事業内容は、墓石の回収リサイクル処分における計量引取りサービス、ユニックBOX レンタルサービスをはじめ、墓じまい、現場代理施工、洗骨／粉骨サービス、御遺骨の引取りサービス、各種アフター工事、永代供養墓や無縁塔の解体移設と各種アフター工事、永代供養塔の施工、お墓参りやお墓掃除の代行・同行サービス、その他石工事全般まで多岐にわたる。

いずれの事業にも共通するのは、「真心をこめたお付き合いを通じ、コンプライアンスを徹底し、社



コンプライアンスを徹底し、業界の信頼回復に努める

会に貢献する」ということ。特に墓じまいと、それにまつわる墓石の回収リサイクル処分においては、需要の増加に伴って無許可業者も増えている。兵庫県南あわじ市の山中で、高さ数メートルに及ぶ大量の墓石が見つかったことは記憶に新しい。秋田県や群馬県などでも悪質な業者が逮捕されたことが報じられ、全国各地に「墓の墓場」ができているという事実は驚きとともに世間の知るところとなった。

「心無い業者の心無い行為が、石材業界全体のイメージを悪化させています。弊社が適切な産業廃棄物処理を提案し、徹底していくことによって、業界に対する信頼回復につなげることができればと思っています」(中西氏)

少子化が進めば、「子孫が墓を継ぎ、管理する」という旧来の常識は今以上に成り立たなくなっていく。墓じまいという選択は、無縁墓を増やさないための合理的な方法であると見る向きもある。必要性があり、需要があれば、そこにつけこみ悪用しようとする人間や組織が出てくるのもまた必然というべきだろう。世の中が求めるものを正しい形で提供し、かつ業界に貢献しようとする同社の良心の波及に期待したいところだ。

施工前



施工後



寺院無縁墓撤去前



寺院無縁墓撤去後



お客様の気持ちに寄り添った 多彩なサービスを展開

では、「適切な廃棄物処理」とはどのようなものなのだろう。具体的に、同社の取り組みを挙げてみたい。

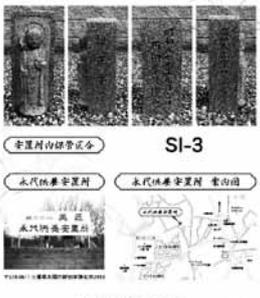
第一に、廃棄物管理士を複数名在籍させ、刻々と変化する廃棄物処理法の最新情報を的確に把握し、発信していること。第二に、墓石の永代供養墓安置

所を自社で保有していること。奈良県の古刹の住職による供養の後、所有する永代供養安置所に安置し、永代供養証明書を発行する。遺骨の永代供養・洗骨・散骨・自然供養など各専門分野の業者と提携しているので、現地案内からコーディネートまで依頼者のニーズにあわせて対応できる体制も整っている。第三に、産業廃棄物処理委託契約書や、委託内容通りに産業廃棄物が処理されたかどうかを確認するための manifests の発行を徹底していること。委託処理する産業廃棄物を manifests で管理することは法律で義務づけられているが、一部の悪質業者が横行する事実の前には、「当たり前のことを当たり前」にやっている」ことの証明が何よりも重要だろう。

もうひとつ、特筆すべきは「お客様の心に寄り添ってお墓じまいに関する業務のトータルサポートサービスを展開している」という点だ。お墓を解体・処分すれば、墓石は産業廃棄物になる。法的には仕方がないこととわかっていても、いわゆる「ごみ」として扱われることに違和感を抱く人は多い。継承者がおらず今後のお墓管理・維持が難しいという場

永代供養御案内



平成28年6月30日
永代供養安置所にて安置させていただきます。
骨・灰の移送時に地氣子御住職様による合同供養法事や
永代に託す御祈りをさせていただきます。

永代供養安置所総合管理

株式会社 志 匠 <http://www.shiboo.co.jp/>

墓石の永代供養墓安置所を自社で保有している

合や、いまのお住まいから近い霊園等に移設・改葬して頻繁にお墓まいりをしたいという場合など、墓じまいを決断するに至るやむを得ない状況が背景にあってもどこか後ろめたいような気持ちが消えない。そうした逡巡や悩みを理解し、血の通ったサービスを展開しているのが同社の最大の強みであり、顧客満足度の高い所以だと言えるだろう。中西氏は、「墓じまいとはお墓をなくすのではなく新しい供養の形である」と話す。

「墓じまいを思い立ってから実行に移すまでには、約半年～1年かかると言われています。

1件1件の墓じまいの裏に悩み抜いた時間があることを念頭に置き、その時間を大切に、お客様の立場に立って墓じまいのお手伝いをさせていただいています。ご先祖様を末永く供養していくための1歩として、墓じまいを認識していただけたらと思います」

石材店様が安心して依頼できる業者として

前述したマニフェスト発行の徹底は、国の規制が厳しくなり、処理業者の選択を誤った場合には悪質な違法処理に対する排出者責任を求められかねない

石材店にとっても大きな安心材料だ。実際、同社であれば信頼して依頼できるという声は多いという。

「少量、多量を問わず、状況に応じて柔軟に対応しているの、依頼しやすいというお声もいただきます。棹石1本、台座1基からでもお受けしますし、木碑・鉄くず・廃プラスチック・残土・コンクリートガラ・骨壺等、改葬に伴うすべての廃材をお引き取りしています。明朗な料金プランで、予定より高額だったり、毎回費用が違ったりということもありません。何よりも、棹石の刻字部分の面切や台石、自然石の小割りが不要なので、石材店様は作業時間も人件費も大幅にロスカットすることができます。石材店様と御施主様との信頼関係の礎ともいえる墓石をコンプライアンスに基づいて安心・確実に取り扱うことによって、新たな信頼関係を築いていければと思っています」

時代の流れが求めるものを、業界に属する各企業がそれぞれの得意分野を生かして連携しながら提供していく。業界の未来は、このスタイルの確立にかかっているとと言えるのかもしれない。同社は今後、自社処理場（プラント）を持つことによって撤去から回収、リサイクル処分までワンストップでのサービス提供をめざし、より幅広いサービス展開を図っていく予定だ。

卸

のスペシャリストとして40余年

自社工場だからできる
ごまかしのない本物のものづくりを実現



本社工場 本社社屋 中国現地法人 泉州鳴本石材有限公司



日本銘石物語

JAPAN QUALITY

カタログと特設サイトバナーをご用意しております。



日本の歴史と共に歩んできた、伝統の日本銘石。

日本銘石物語

NARUMOTO

鳴本石材株式会社

■ 本社/本社工場
〒714-0062 岡山県笠岡市茂平2918-23
TEL: (0865)66-1414 FAX: (0865)66-3022
E-mail soumu@narumoto.co.jp

■ 笠岡営業所
〒714-0062 岡山県笠岡市茂平2918-23
TEL: (0865)66-3066 FAX: (0865)66-1144
E-mail kasaoka@narumoto.co.jp

■ 関西営業所
〒651-1312 兵庫県神戸市北区有野町有野81
TEL: (078)987-1455 FAX: (078)987-1486
E-mail kansai@narumoto.co.jp

泉州鳴本石材有限公司

■ 泉州事務所/泉州工場
福建省泉州市惠安縣惠東工業園区

<http://narumoto.co.jp>